

所属・氏名（健康科学部 医療経営学科 氏名：下西 真代）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学術論文) 教育的戦略としてのトランスランゲージングの可能性: 日本在住のバイリンガル児童のための音楽授業を例に	単著	2018 年 3 月	広島国際大学大学院	音楽教育現場において、学習者の言語レパトリーの全てを柔軟に利用することの重要性について探究した。ここでは日本在住のバイリンガル児童を対象に、トランスランゲージングを奨励する音楽の授業をデザインし、実施した。そこから得られたデータをもとに、音楽の授業においてトランスランゲージングを取り入れることの意義や、モノリンガルに対する教育現場において、教育戦略としてのトランスランゲージングを応用できる可能性についても論じた。 (A4 判 全 66 頁)
2	(国内学会発表) バイリンガル児童の作詞活動における複数言語の使用について	単著	2018 年 3 月	日本社会言語学会 第 41 回大会 (於: 東洋大学)	日常的に複数の言語に接しているバイリンガル・マルチリンガルの人々は、作詞という創作活動において大きなアドバンテージを持っていると考えられるのではないかと、という仮説のもと、インターナショナルスクールに通う児童ら 24 名を対象に、作詞活動を含む音楽の授業をデザインし、実施した。そのデータから、バイリンガル児童らの、作品の創造性を高めるための戦略として複数言語の混用を実践する傾向について分析・考察した。
3	(国内学会発表) 公の場での子どもの言動を親はどう監督するか —実験参加中の子どもの「終了意思表示」に対する親の対処—	共著	2025 年 9 月	人工知能学会 言語・音声理解と対話 処 理 研 究 会 (SLUD) 第 104 回 研究会 (於: 広島大学)	公の場で子どもに適切にふるまわせることは、親にとって大きな悩みの種となりうる。本研究では、未就学の子どもとその親が絵本読み聞かせ実験に参加した際の会話をを用いて、実験中の子どもの発言や行動を親が「この場では不適切」と見咎めるやり取りから、子どもの監督者である親自身のふるまいとその背後にあると考えられる意識を明らかにする。 (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
4	()				

令和 8 年 4 月 1 日現在